

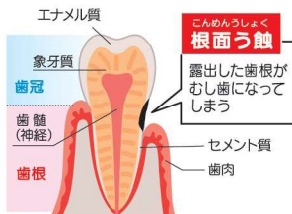
大人のむし歯は歯の根に注意!

一生の間には、むし歯がしやすい時期が3度あります。それは、**①乳歯が生える乳幼児のとき**、**②永久歯に生え変わる小学生の頃**、そして大人が気を付けたいのが、**③中高年以降のむし歯**です。

●中高年以降になりやすいむし歯

①②の時期は、奥歯の噛み合う部分や歯と歯の間など、歯の上の部分(歯冠)にできるむし歯が多くなります。

しかし、**③中高年以降**は歯根と呼ばれる、歯の付け根のむし歯が目立ってくる特徴があります。このような部分にできるむし歯を「**根面う蝕**」といいます。



●なぜ、中高年になると増えてくるの?

根面う蝕は歯根が歯肉から露出したところにできます。中高年以降は、歯周病や加齢により歯肉が下がっていくことが関係しています。他にも、唾液の分泌が徐々に減ってくることで、お口の中の自浄作用が弱まり、むし歯になりやすい環境になってしまうのです。



●根面う蝕で気を付けたいのは

また、知っておきたいのが、歯冠と歯根のむし歯に対する強度の違いです。上の図の通り、歯冠はエナメル質という硬い組織に覆われているため、比較的ゆっくりとむし歯が進行します。

それに対し歯根はこのエナメル質に覆われておらず、もろく柔らかい組織なので、歯肉が下がるとそれまでむし歯ができにくかった人にもむし歯ができたり、歯髄(神経)までの距離が近いことから、早い段階で痛みを感じ、治療の際に神経を取らなければならないこともあります。

リスクを知り、正しいブラッシングやダラダラ食いに気を付けて、大切な歯を1本でも多く守っていきましょう。

VOICE

むし歯は生活習慣と密接に関わる予防できる疾患。
セルフケアと定期検診で、未永く良い状態をキープしましょう!

KOMIYA DENTAL ☆ NEWS LETTER

2019
5

皆様ごきげんよう。2019年4月1日に『平成』の次の新元号が『令和(れいわ)』と発表され、5月1日より新元号に変わりました。発表される前には、色々な所で予想されていて賑わっていましたが、皆様の予想はいかがでしたか?

新しい元号『令和』は、万葉集に収められている『太宰帥大伴の卿の宅に宴してよめる梅の花の歌三十二首』の序文から出典され、以下の唄から引用されています。「初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫らす」これを現代語に訳すと、「春の初めのでたい月に、風はやわらいで気持ちよく吹いている。梅は鏡の前でお粉(おしろい)をはたく女性のように白く美しく咲き、蘭の花は身にまとった装飾品の香り袋のように薫っている」といった、とても華やかで風情のある風景を詠んでいる唄だということです。『令和』には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が育つ」という意味がこめられているそうです。また、「厳しい冬のあとには梅のような美しい花を、国民一人一人が咲かせられるように」という願いも込められているようです。

日本の昔から続く、「薫り高き文化」「四季折々の季節」などの美しさ感謝しながら大切にしていこう、という日本の国民文化に誇りを持って決定したとも語られています。昨今はグローバル化が進み、沢山の物や情報に溢れ、新しいものがどんどん出てくる世の中ではありますが、「温故知新」の心を持ち、日本の美しい文化や感性を改めて大事にしていける、心豊かな新しい時代になるといいと思います。新しい元号『令和』になりましたが、改めて、平和で豊かな世界が生まれるようにみんなで努力いたしましょう。

さて、新学期、新年度も落ち着く頃とは思いますが、朝夕の温度差も多い季節。体調管理、くれぐれも予約のうっかり忘れにはお気をつけくださいませ。(む)

毎月保険証の提示にご協力頂きありがとうございます。
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

☑ **こみや歯科** ☎ 03-5699-8888 〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F
インターネット予約確認サービス >> <https://dn2.dent-sys.net/komiya>
ホームページ >> <http://www.wahaha.gr.jp> E-Mail >> dental@wahaha.gr.jp